

9-4 沖縄地方とその周辺の地震活動（1994年11月～1995年4月）

Seismic Activity in and around the Okinawa District (November, 1994-April, 1995)

沖縄気象台
Okinawa Meteorological Observatory, JMA

1994年11月から1995年4月までの震央分布を第1図に、この期間の与那国島における日別地震回数（黒塗りはS-P時間6.0秒の地震回数）を第2図に示す。

この期間、管内で有感となった地震は、11月3回、12月6回、1月5回、2月6回、3月2回および4月12回の合計34回観測された。（最大規模：M6.2，1995年2月23日，台湾付近）

(1) 沖縄島近海及び沖縄島北西沖の地震活動

この期間、6個の有感地震があった。

1月15日11時40分、沖永良部の北西約60kmで発生した地震（M5.6）により、沖永良部で震度4、名瀬で震度3、那覇、名護で震度1を観測した。那覇および名護での有感地震は、昨年7月11日の地震以来である。

2月25日05時09分、那覇の北西約120kmで発生した地震（M5.3）により、那覇、久米島で震度2、名護、沖永良部で震度1を観測した。

(2) 宮古島近海及び宮古島北西沖の地震活動

この期間、8個の有感地震があった。

12月16日12時07分、宮古島の北西約40kmで発生した地震（M4.1）により、宮古島で震度3を観測した。宮古島で震度3を観測したのは1992年12月7日の地震（M3.8）以来である。

特に、4月2日から5日にかけて、宮古島の北西約90kmの海域で地震活動が活発となり、宮古島で震度1の有感地震3個を含め122個の震源が決定された。震源分布図、時空間分布図、M-T図を第3図に示す。この地震活動による最大規模は、4月3日18時36分と4月5日09時20分に発生した地震で、ともにM4.5であった。今回の同海域での地震活動は、4月2日に特に活発で78個の震源が決定されたが、5日以降目立った活動はない。また、同海域では、これまで特に活発な地震活動はなかった。

(3) 石垣島近海及び石垣島北西沖の地震活動

この期間、14個の有感地震があった。

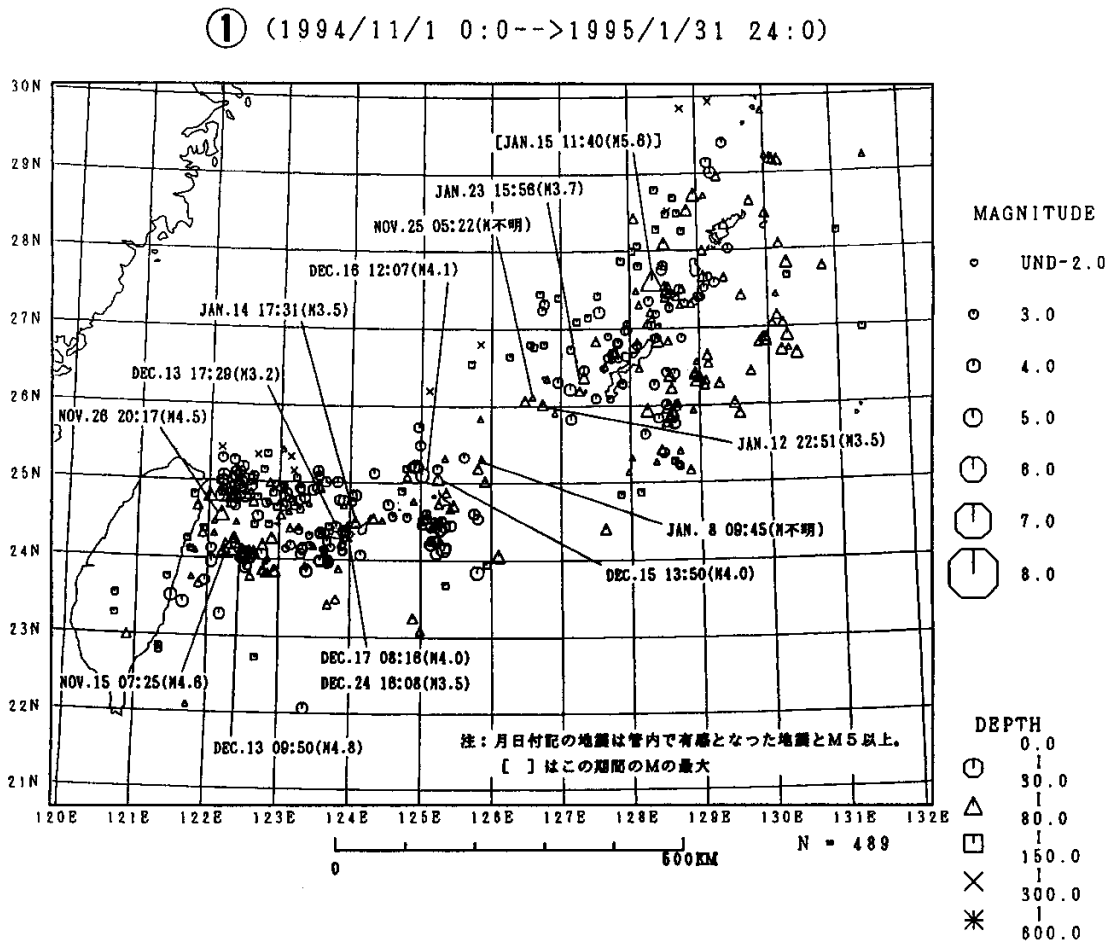
西表島付近では、12月13日17時29分、同島北部沿岸付近で発生した地震（M3.2）により、西表島で震度3を観測した。また、12月中旬から下旬にかけて同島東部沿岸付近で地震が頻発し、2回の有感地震を含め、7個の震源が決定された。

4月に入って西表島の北西約20kmの海域で地震が頻発し、4個の有感地震があり、西表島で

それぞれ震度1を観測した。また、西表島の北約70kmの海域では、4月1日20時48分に発生した地震(M4.4)により西表島で震度1が観測され、18個の震源が決定されている。また、西表島の南西約40kmの海域で、3個の有感地震が観測された。4月6日11時51分に発生した地震(M4.2)により西表島で震度1を観測した。

(4) 台湾付近の地震活動

台湾東岸付近において、2月23日14時18分にこの期間の最大規模であるM6.2の地震が発生し、与那国島、西表島でそれぞれ震度1を観測した。また、4月3日20時54分、与那国島の南西約100kmで発生した地震(M4.9)により与那国島で震度2、石垣島と西表島で震度1を観測した。また、4月4日07時33分、与那国島の南西約90kmで発生した地震(M5.0)により与那国島と西表島で震度1を観測した。

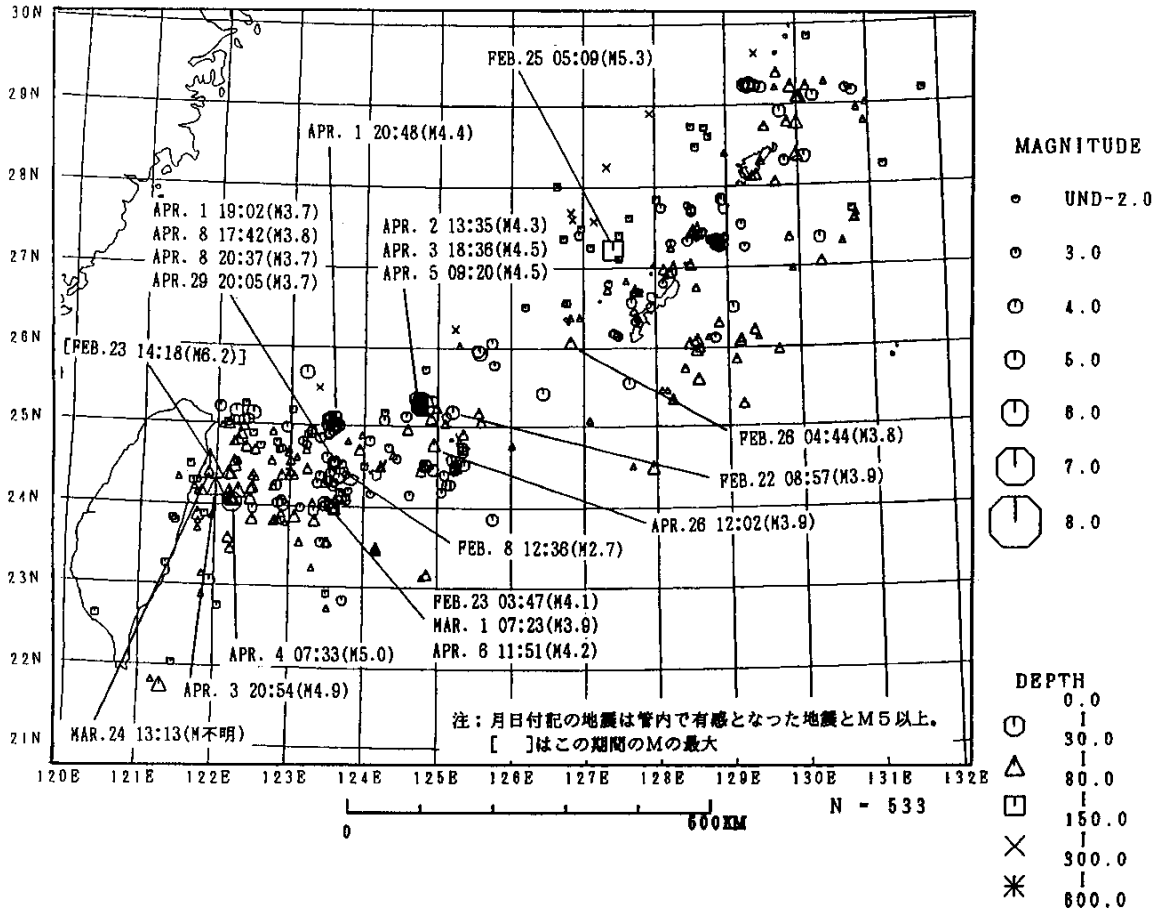


第1図 震央分布図 ①：1994年11月～1995年1月

Fig.1 Epicentral Distribution of the earthquakes.

①：November, 1994-January, 1995.

② (1995/2/1 0:0-->1995/4/30 24:0)

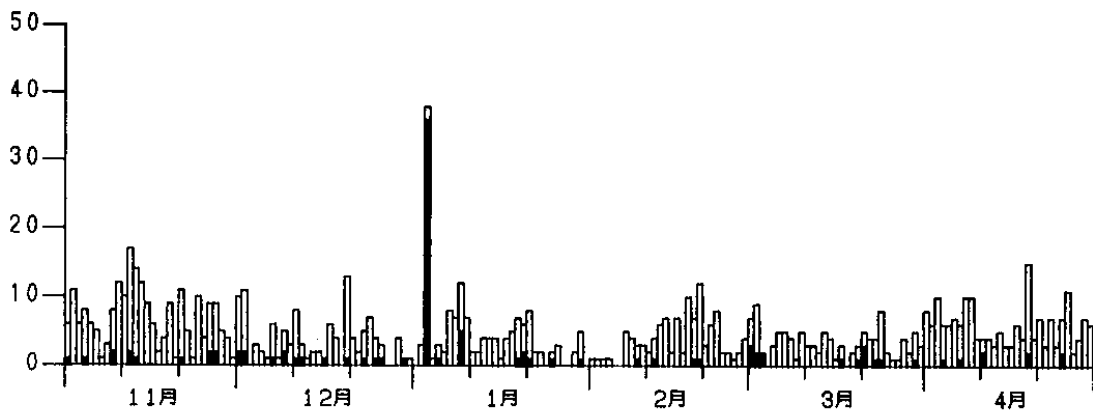


第1図 つづき ②: 1995年2月~1995年4月

Fig. 1 (Continued) ②: February-April, 1995.

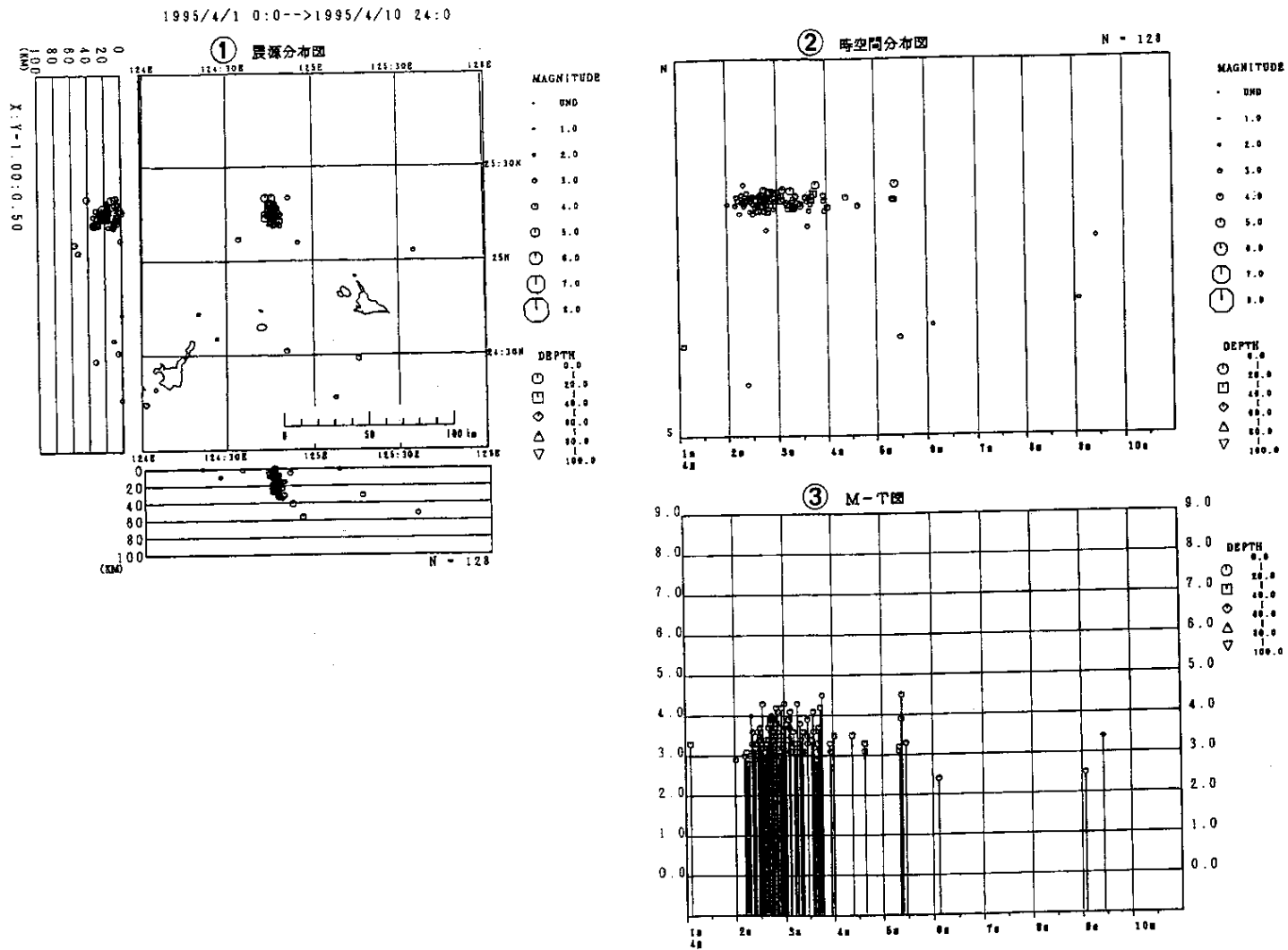
与那国島における日別地震回数 (1994-1995年)

S-P (全体) ≤ 60 秒, S-P (■) ≤ 6 秒



第2図 与那国島久部良観測局における日別地震回数 (1994年11月~1995年4月)

Fig.2 Daily number of earthquakes observed at Yonagunijima-Kubura station (November, 1994-April, 1995).



第3図 宮古島北西沖の地震活動 ①:震源分布図 ②:時空間分布図 ③:M-T図

Fig.3 Seismic activity northwest off the Miyakojima Island.

①: Hypocentral distribution, ②: Space-time plot, ③: M-T diagram.